



2023 年 12 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社三井 E&S
代表者名 代表取締役社長 高橋 岳之
(コード：7003、東証プライム市場)
問合せ先 経理部長 林 和雄
(TEL. 03-3544-3210)

2024 年 3 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023 年 11 月 8 日に公表いたしました 2024 年 3 月期の連結業績予想について下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

2024 年 3 月期 通期連結業績予想数値 (2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	280,000	12,000	6,000	5,000	47.44
今回修正予想 (B)	280,000	12,000	9,000	8,000	80.56
増 減 額 (B-A)	—	—	3,000	3,000	
増 減 率 (%)	—	—	50.0	60.0	
(ご参考) 前期実績 (2023 年 3 月期)	262,301	9,376	12,532	15,554	177.47

(注) 1. 上記予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後、様々な要因により上記数値と異なる可能性があります。

2. 修正の理由

本日、当社の持分法適用関連会社である三井海洋開発株式会社 (コード番号 6269) が 2023 年 12 月期通期業績予想を修正いたしました。同社業績予想の修正を受け、2024 年 3 月期の当社連結決算において持分法投資利益が増加する見込みとなったため、上記の通り連結業績予想を修正いたします。

三井海洋開発株式会社の修正理由の詳細については、添付「2023 年 12 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の業績予想につきましては、未確定要素を保守的に見積り反映しております。その後の経過や事業環境等を踏まえて現在精査をしており、算定可能となった段階で改めてお知らせいたします。

(添付)

別添：「2023 年 12 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」
(2023 年 12 月 22 日付の三井海洋開発株式会社公表資料)

以 上

<ご参考>

2024年3月期 セグメント別通期連結業績予想数値（2023年4月1日～2024年3月31日）

	前回発表予想		今回修正予想		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
成長事業推進	百万円 30,000	百万円 3,000	百万円 30,000	百万円 3,000	百万円 —	百万円 —
船用推進システム	130,000	5,000	130,000	5,000	—	—
物流システム	50,000	2,000	50,000	2,000	—	—
周辺サービス	60,000	2,000	60,000	2,000	—	—
海洋開発	—	—	—	—	—	—
その他	10,000	0	10,000	0	—	—
合計	280,000	12,000	280,000	12,000	—	—

- (注) 1. 海洋開発セグメントは持分法適用関連会社で構成されており、売上高、営業利益には影響いたしません。
2. 通期業績として海洋開発セグメントで持分法投資利益約50億円を見込んでおります。
3. 上記予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後、様々な要因により上記数値と異なる可能性があります。



2023年12月22日

各位

上場会社名 三井海洋開発株式会社
代表者 代表取締役社長 金森 健
(コード番号 6269)
問合せ先責任者 取締役専務執行役員 高野 育浩
(TEL 03-5290-1200)

2023年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年2月14日に公表し、2023年11月9日に修正した2023年12月期通期(2023年1月1日～2023年12月31日)の業績予想を以下のとおり修正することといたします。また、未定としておりました営業利益、税引前利益についても下記のとおりお知らせいたします。

記

●通期業績予想の修正について

1. 2023年12月期通期連結業績予想数値の修正(2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する 当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	千米ドル	千米ドル	千米ドル	千米ドル	米ドル
前回発表予想(A) (2023年11月9日公表)	3,000,000	未定	未定	45,000	0.80
今回修正予想(B)	3,600,000	180,000	200,000	90,000	1.48
増減額(B-A)	600,000	—	—	45,000	
増減率(%)	20.0	—	—	100.0	
(ご参考)前期実績 (2022年12月期)	2,739,762	75,330	54,835	37,377	0.66

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する 当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2023年11月9日公表)	448,740	未定	未定	6,731	119.40
今回修正予想(B)	516,600	25,830	28,700	12,915	213.69
増減額(B-A)	67,860	—	—	6,184	
増減率(%)	15.1	—	—	91.8	
(ご参考)前期実績 (2022年12月期)	363,593	9,997	7,277	4,960	88.00

(注) 当社の連結業績予想は当社の機能通貨である米ドルで行っています。2023年11月9日に公表された前回発表予想値について表示されている金額は、便宜上、2023年9月29日現在の株式会社三井住友銀行の対顧客電信直物相場の仲値に基づき、1米ドル=149.58円で換算された金額です。また今回修正予想値について表示されている金額は、便宜上、2023年12月21日現在の株式会社三井住友銀行の対顧客電信直物相場の仲値に基づき、1米ドル=143.50円で換算された金額です。

2. 修正の理由

売上収益につきましては、本年度に受注した浮体式石油生産貯蔵積出設備(FPSO)の建造工事が想定以上に順調に進捗していることなどから、前回発表予想を上回る見通しとなりました。

営業利益および税引前利益につきましては、建造工事の進捗見通しや、不確定要素による影響を精査中であったため未定としておりましたが、一定の見通しが立ちましたので公表いたします。

また、親会社の所有者に帰属する当期利益及び基本的1株当たり当期利益につきましては、建造工事の順調な進捗に加え、予想信用損失引当金の取崩しが金融収益として認識されることから前回発表予想を上回る見通しとなりました。この予想信用損失引当金は、過去に採算悪化影響を受けたFPSOを保有する持分法適用会社向けの貸付金に対して計上されたものです。しかしながら、この度、当該持分法適用会社によるFPSO売却取引により一部貸付金の回収見込額が変動することに伴い、引当金の一部を取崩す予定です。なお、当該金融収益の影響につきましては、税引前利益の今回修正予想数値に織り込まれております。

(注)上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上